

# ほけんだより2月

2026年2月27日  
荒川区立原中学校  
養護教諭

2月6日(金)、2年生を対象に性教育が行われました。講師は、東京都立大学看護学科助産学専攻の安達久美子先生です。テーマは「生=性について考えよう」でした。

月経・射精の仕組みや体のつくりなど、一度聞いただけで理解するのは難しい部分もあると思います。保健体育の授業を含めて、繰り返し学ぶことで自分の理解が深まっていきます。

授業の様子と2年生の感想を紹介します。



自分のライフ  
プランを考え中...

趣味や好きなもの、友達と  
何でも一緒ではありません  
ね。違いを認め合って、自分  
を大切に、相手も大切に。



## ～感想の紹介～

- ・性感染症の種類之多さに驚いた。1人が感染しているだけで、多数の人間に感染する恐れがあるのが怖いと思った。
- ・なぜ生理がくるのかなど、ずっと疑問に思っていました。安達先生の話聞いて、これは大人に向かっての成長だとわかりました。
- ・思春期は自分についてよく考える時期で、大人になる準備をしていると改めて理解できた。
- ・自分がモヤモヤしていたこともほとんどが、思春期の特徴に当てはまっていて、頑張っ乗り越えていこうと思いました。
- ・「一番自信がなく、悩みやすいのが中学生」という言葉で安心することができた。



## 質問コーナー

2年生から出た安達先生への質問に回答をもらいました！

Q. 先生はなぜこの分野に興味をもったのですか？

A. 助産師として病院で働いているときに、中学生で妊娠や出産をした人たちと出会うことができました。彼女たちとの関わりの中で、性に関する知識が不足していることを強く感じたのがきっかけです。

Q. 思春期は必ず小学校高学年で来るのですか？

A. 思春期は体の変化(第二性徴)の始まり頃をスタートとしています。一般的には、女子は9～11歳頃、男子は10～12歳頃が平均的なのですが、個人差があります。中学生になってからという人もいます。

## ✿こんな相談先があります✿

### ・ とうきょう若者ヘルスサポート（わかさぼ）

→10代の健康の悩み(からだ・性・睡眠・食生活など)  
について相談に乗ってくれる。

☆電話、メール、チャット、対面で相談できる

☎0120-372-463 (みんなに よりそう)

受付時間：毎週月～金曜日 午後3時から午後8時まで

毎週土・日曜日 午前9時から午後2時まで

・メールは相談フォームから(随時受付)



### ・ Tokyo LGBT 相談 専門 LINE 相談・電話相談

→性別に違和感がある、同性が好きかもしれない、性表現(服装など)について聞いてほしいなどの  
相談に乗ってくれる。

☆相談 LINE

受付時間：月曜日・水曜日・木曜日  
17時～22時

☎050-3647-1448

受付時間：火曜日・金曜日  
18時～22時



### ・ セイシル

若者が抱える性のモヤモヤに  
医師や看護師などがこたえる  
webメディア

